

倫理法人会講話、潜水艦見学ツアー

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 林2陸尉）は、6月11日（土）、相模原市内において、橋本倫理法人会及び同事務所募集相談員会に対し、神奈川地本本部長（松田一海佐）を講師に迎え、「自衛隊の活動について」をテーマに防衛講話を実施した。講話終了後、引き続き米海軍横須賀基地内において、講話参加者に加えて、隊友会東北支部会員及び市内の中高校生ボーイスカウトが参加し、第2潜水隊群支援のものと潜水艦見学ツアーを行った。

相模原地域事務所は、「今後もあらゆる機会を据え、地域住民に対して自衛隊の活動を広報していく」としている。

駅周辺で市街地広報を実施

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、7月13日（水）から7月15日（金）までの間、自候生等の志願者獲得を目的に、東急線（溝の口駅・宮前平駅）及び小田急線（向ヶ丘遊園駅・平駅）周辺で、川崎北募集相談員とともに市街地広報を実施した。

近年、募集環境が厳しさを増す中、優秀な人材を確保するため、効果的な時期・場所を選定し、迷彩服で自衛官募集のPRを行った。酷暑の中、募集用リーフレットやうちわを手にした募集対象者の中には、渡されたうちわで暑さをしのぎながら、リーフレットに目を通す学生もあり、募集成果は期待できる募集広報が実施できた。

溝の口募集案内所は、「今後も、多くの市の自衛隊に対する理解を深め、募集広報に繋げていきたい」としている。

高校生募集開始 ～市街地広報～

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 林2陸尉）は、7月19日（火）、JR橋本駅及び小田急相模大野駅において、高校生の募集解禁に伴い市街地広報を実施した。

自衛隊に関心のある高校生や大学生らが足を止め、広報官の説明に熱心に耳を傾けてくれた。また、同事務所募集相談員会会長も支援に駆けつけ、学生に対する募集PRに協力していただいた。

相模原地域事務所は、「今後も駅周辺での市街地広報を継続的に実施し、学生に自衛隊を理解してもらおうとともに募集成果につなげていきたい」としている。